主催　日本情報処理検定協会　　後援　文部科学省

第１２０回（令和２年２月）情報処理技能検定試験（表計算）２級問題

＜問　　題＞

１．下記の＜入力データ＞を基に、＜処理条件＞に従って表およびグラフを完成し、印刷しなさい。
　　表題は表の中央、見出しは中央揃え、文字は左揃え、数字は右揃えとし、３桁ごとにコンマをつけること。
２．使用したテーブルを印刷しなさい。（表の形式は問わない）
３．試験時間は３０分とする。ただし、印刷は試験時間外とする。

＜入力データ＞

商ＣＯ	商品名	原価	仕入数
101	商品Ｓ	5,972	603
102	商品Ｔ	5,643	587
103	商品Ｕ	4,605	724
104	商品Ｖ	5,421	670
105	商品Ｗ	6,097	356

※＜出力形式１＞で使用する。

得ＣＯ	得意先名	商ＣＯ	売上数
1001	大内企画	102	290
1002	ＳＦマート	104	274
1003	鈴木商会	103	392
1004	ヤマモ商店	102	267
1005	中央商事	105	326
1006	小宮山物産	104	360
1007	満腹工房	101	263
1008	安心ストア	103	289
1009	北前水産	101	305

※＜出力形式２＞で使用する。

＜値引率表＞

定価	売上数	値引率
7,900以上	または　290以上	8.3%
それ以外		7.2%

＜判定表＞

売上数	売上額	判定
360 以下	かつ　220 万以上	＊＊＊
360 以下	かつ　190 万以上　220 万未満	＊＊
それ以外		＊

＜処理条件＞

１．＜出力形式１＞のような商品別定価計算表を作成しなさい。（ —— の部分は空白とする）
２．仕入額＝原価×仕入数　　手数料＝仕入額×3.8%（整数未満切り上げ）
　　定価＝（仕入額＋手数料）÷仕入数×1.3（整数未満切り上げ）
３．合計を求めなさい。
４．＜出力形式２＞のような得意先別売上一覧表を作成しなさい。（ —— の部分は空白とする）
５．商品名・定価は、商品別定価計算表を表検索しなさい。
６．値引率は＜値引率表＞を参照し、求めなさい。（%の小数第１位までの表示とする）
　　売価＝定価×（1－値引率）（整数未満切り捨て）
　　売上額＝売価×売上数
７．判定は＜判定表＞を参照し、求めなさい。
８．合計を求めなさい。
９．売上額の降順に並べ替えなさい。
10．罫線の太線と細線を区別する。（外枠は太線とする）
11．得意先別売上一覧表の商品名と判定のセル証明をしなさい。
12．得意先別売上一覧表の売上額の値を得意先名別の横棒グラフにしなさい。
　　タイトルは“売上額の比較”とし、凡例は“売上額”とする。

＜出力形式１＞

商　品　別　定　価　計　算　表

商ＣＯ	商品名	原価	仕入数	仕入額	手数料	定価
（　途　中　省　略　）						
——	合　計	——				——

＜出力形式２＞

得　意　先　別　売　上　一　覧　表

得ＣＯ	得意先名	商ＣＯ	商品名	定価	売上数	値引率	売価	売上額	判定
（　途　中　省　略　）									
——	合　計	——	——	——		——	——		——